

第39回測量調査技術発表会 開催報告

開催日：2017年6月2日 10:20～17:05

会場：新宿区立四谷区民ホール

公益財団法人日本測量調査技術協会（以下、測技協）が測量の日関連行事として毎年開催している測量調査技術発表会は、会員各社の先端測量技術の発表の機会として、また、測量関連の方々への情報発信や情報収集の場としても多数の方にご来場いただいています。本年は、日本工業大学 准教授 石川貴一郎氏による特別講演と会員による技術発表11編、新規入会会員の技術紹介2編、技術委員会部会・WG等の2編の活動報告を行いました。また、先端測量技術108号掲載の技術論文から選考された、会長賞1編に加え、当日の発表者のパフォーマンスを技術委員会が審査し、選考した優秀発表賞3名を表彰いたしました。

参加者数、発表内容、表彰等の詳細は次のとおりです。

■参加者数 331名

（測量および設計CPD発行310名（参加）、測量CPD 16名（発表）、7名（受賞））

■発表内容

	発表タイトル	所属	発表者
1	衛星・空中写真を用いたH28年熊本地震の建物被害緊急判読	株式会社パスコ	山田 哲也
2	地理空間情報アーカイブを利用した大規模盛土調査について	株式会社八州	石和 直樹
3	GISを利用した沿岸域調査における解析手法	アジア航測株式会社	森下 絵理子
4	多重光源陰影と疑似陰影による新しい地形表現の検討	株式会社東京地図研究社	鈴木 敬子
5	3次元計測データのモデル化及び利活用	株式会社パスコ	金森 紘代
6	i-Constructionにおける地上レーザ測量に関する実証実験	国際航業株式会社	清水 真人
7	UAV搭載の小型レーザ計測の精度検証	株式会社アスコ大東	延川 熙泰
8	UAV計測の精度検証および利活用の検討 －新潟荒川河口における事例－	朝日航洋株式会社	河合 利巳
9	UAV LiDAR点群の軌跡に基づいたレジストレーション	アジア航測株式会社	増田 侑希子
10	UAVレーザを用いた施工現場に対する出来形管理への適用性検討	中日本航空株式会社	水野 洋平
11	無人船舶を用いた栈橋上部工コンクリート下面の効率的な計測技術の紹介	朝日航洋株式会社	三浦 博之
12	〈新規会員技術紹介〉クモノスコーポレーションの技術紹介	クモノスコーポレーション株式会社	中庭 和秀
13	〈新規会員技術紹介〉菊池製作所グループにおけるロボットへの取組みと測量分野における応用	株式会社菊池製作所	一柳 健
14	【特別講演】三次元地図とロボット制御のかかわり	日本工業大学 機械工学科	准教授 石川貴一郎
15	空中計測・マッピング部会 図式検討WG 活動報告 地図情報レベル10000図式検討WGの報告	図式検討WG	水野 誠司 若林 稔幸
16	位置情報・応用計測部会 活動報告 準天頂衛星システム -CLAS紹介-	位置情報・応用計測部会 三菱電機株式会社	登井 紹公 曾根 久雄

本発表会にもとづく論文等は本誌に掲載しています。

■特別講演

「三次元地図とロボット制御のかかわり」

日本工業大学 准教授 石川貴一郎氏により2000年代前半の自律移動ロボットと、MMS計測技術・原理との関わり、また、その後のMMSで計測された点群の移動ロボット制御への利用を中心とした説明をいただきました。さらに、ご専門である移動ロボット技術を利用したMMSへの応用についてもご紹介いただきました。



会場



石川先生

■表彰

1) 優秀発表賞

20名の審査員により、「1) プレゼンテーション内容に基づく技術内容 新規性、有用性、完成度、信頼性(40点満点)」「2) 発表の仕方 発表内容の分かりやすさ、発表資料の体裁、発表態度(30点満点)」計70点満点の採点により以下の3名を選考し優秀発表賞として表彰しました。

所 属	発表者
アジア航測株式会社	森下 絵理子
株式会社東京地図研究社	鈴木 敬子
株式会社パスコ	金森 紘代

2) 優秀技術論文

先端測量技術108号に掲載された論文から6つの視点(新規性、有用性、完成度、信頼性、論文の分かりやすさ、論文としての体裁)による審査により選考された優秀技術論文を、会長賞として表彰しました。

会長賞	<p>論文タイトル</p> <p>「高精度スペクトルセンサによる 新たな空間情報収集の取り組み ～熱赤外センサによる野生動物の検出～」</p>	<p>筆頭筆者</p> <p>中日本航空株式会社 田村 恵子</p> <p>共著者</p> <p>中日本航空株式会社 宮坂 聡 同 吉田 夏樹 同 宇野女 草太</p>
-----	---	--



表彰式